



2020年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年3月13日

上場会社名 株式会社 ブラス 上場取引所 東 名
 コード番号 2424 URL https://www.brass.ne.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 達明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 河合 智行 TEL 052-446-5338
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第2四半期の業績（2019年8月1日～2020年1月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第2四半期	5,713	20.2	493	206.0	503	191.4	313	194.5
2019年7月期第2四半期	4,753	4.6	161	△40.3	172	△37.6	106	△35.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第2四半期	55.08	—
2019年7月期第2四半期	18.66	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期第2四半期	11,215	3,818	34.1	676.00
2019年7月期	10,479	3,623	34.6	634.67

(参考) 自己資本 2020年7月期第2四半期 3,818百万円 2019年7月期 3,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年7月期	—	0.00	—	—	—
2020年7月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年7月期の業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,890	14.4	711	27.3	734	26.2	440	19.3	77.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期2Q	5,709,300株	2019年7月期	5,709,300株
② 期末自己株式数	2020年7月期2Q	60,200株	2019年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期2Q	5,695,272株	2019年7月期2Q	5,709,300株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策の効果もあり、企業収益や雇用環境の改善など緩やかな回復が続くことが期待されますが、新型コロナウイルス感染症の経済に与える影響に十分注意する必要があります。また、通商問題を巡る海外経済の動向及び消費税率引上げ後の消費者マインドにも留意する必要があります。

当社が属するウェディング業界におきましては、少子化の進展・結婚適齢期人口の減少を背景に、挙式・披露宴件数は緩やかな減少傾向にあります。一方で、ハウスウェディングの需要は底堅く推移し挙式・披露宴にかかる費用は年々増加傾向にあります。

このような環境の中、当社は「それぞれの新郎新婦にとって最高の結婚式を創る」との企業理念に基づき、一軒家を完全貸切し、施設全体を利用した多彩な演出を実現、自宅にお客さまを招く感覚で挙式・披露宴を挙げることができる仕組みを確立しており、すべての会場を「1チャペル・1パーティ会場・1キッチン」とし、貸切の贅沢感を重視しております。また、結婚式場としては小型店舗のため、用地確保の難しい大都市から、人口が比較的少ない郊外においても出店を可能とし、事業展開をしております。

当第2四半期累計期間における売上高は、オリコン顧客満足度調査「ハウスウェディング部門」総合&全評価項目ともに全国1位の効果及び消費税率引上げ前の駆け込み需要の影響により、結婚式実施組数は1,420組（前年同期比17.7%増）となりました。

費用面において、当第2四半期累計期間にて計画しておりました広告宣伝費及び修繕費を第3四半期以降に実施することとなりましたので費用の一時的な抑制がされております。

店舗展開につきましては、2019年7月に結婚式場「アコールハープ（千葉県船橋市）」、2019年8月に結婚式場「アトールテラス鴨川（京都府京都市）」の開業準備室をオープンし、グランドオープンに向け受注を開始しております。また、2020年1月にドレスショップ「ビードレッセ名古屋駅店（愛知県名古屋市）」をグランドオープンいたしました。当第2四半期累計期間におきましては、これらの出店費用を計上しております。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は5,713,255千円（前年同期比20.2%増）、営業利益493,278千円（前年同期比206.0%増）、経常利益503,965千円（前年同期比191.4%増）、四半期純利益313,701千円（前年同期比194.5%増）となりました。

なお、当社はウェディング事業の単一セグメントであり、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、11,215,079千円（前事業年度末比735,084千円増）となりました。これは主に、現金及び預金（前事業年度末比504,484千円増）及び有形固定資産（前事業年度末比174,239千円増）が増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、7,396,302千円（前事業年度末比539,833千円増）となりました。これは主に、未払法人税等（前事業年度末比137,959千円増）、未払消費税等（前事業年度末比144,336千円増）、前受金（前事業年度末比122,241千円増）及び長期借入金（前事業年度末比134,286千円増）が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、3,818,776千円（前事業年度末比195,250千円増）となりました。これは、四半期純利益の計上等に伴い、利益剰余金（前事業年度末比245,189千円増）が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ504,483千円増加し、1,260,824千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期累計期間に比べ713,959千円増加し、950,798千円となりました。これは主に、未払消費税等の増減額及び税引前四半期純利益が増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期累計期間に比べ600,673千円減少し、457,557千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果得られた資金は、前第2四半期累計期間に比べ829,055千円減少し、11,243千円となりました。これは主に、長期借入れによる収入が減少したこと等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月期通期の業績予想につきましては、2019年9月12日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、今般の新型コロナウイルス感染拡大による政府からの様々なイベント等の自粛要請を受け、当社におきましても、既に延期となった挙式・披露宴を含め、現時点においても延期等に関する問い合わせが発生しておりますが、当該事象に伴う影響額については現在精査中のため通期業績予想につきましては、前回予想を据え置くことといたしました。今後、業績予想への影響が判明し、修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	796,607	1,301,091
売掛金	28,640	19,588
商品	44,598	53,591
貯蔵品	52,022	55,904
前払費用	75,355	86,959
その他	58,556	25,756
貸倒引当金	△6,111	△5,731
流動資産合計	1,049,669	1,537,160
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,562,425	10,781,018
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,594,174	△3,834,842
建物（純額）	6,968,251	6,946,175
構築物	986,967	989,940
減価償却累計額及び減損損失累計額	△505,701	△530,601
構築物（純額）	481,265	459,339
機械及び装置	1,063	1,063
減価償却累計額及び減損損失累計額	△746	△770
機械及び装置（純額）	317	292
車両運搬具	31,063	31,827
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,117	△26,574
車両運搬具（純額）	5,946	5,252
工具、器具及び備品	1,184,646	1,307,452
減価償却累計額及び減損損失累計額	△864,054	△943,090
工具、器具及び備品（純額）	320,591	364,361
土地	401,608	401,608
建設仮勘定	38,621	213,809
有形固定資産合計	8,216,601	8,390,841
無形固定資産		
のれん	31,755	26,311
ソフトウェア	37,858	41,424
その他	8,958	8,459
無形固定資産合計	78,572	76,195
投資その他の資産		
関係会社株式	48,443	48,443
出資金	30	30
差入保証金	519,721	530,817
長期前払費用	44,260	82,152
繰延税金資産	520,912	547,640
その他	1,783	1,797
投資その他の資産合計	1,135,151	1,210,881
固定資産合計	9,430,325	9,677,918
資産合計	10,479,995	11,215,079

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,563	264,380
1年内返済予定の長期借入金	1,124,526	1,119,644
未払金	338,616	433,884
未払費用	86,942	62,584
未払法人税等	104,700	242,659
未払消費税等	—	144,336
前受金	331,363	453,605
その他	46,385	29,151
流動負債合計	2,378,097	2,750,245
固定負債		
長期借入金	3,862,197	3,996,483
退職給付引当金	76,496	85,346
資産除去債務	359,676	384,227
その他	180,000	180,000
固定負債合計	4,478,371	4,646,057
負債合計	6,856,469	7,396,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,556	534,556
資本剰余金		
資本準備金	514,556	514,556
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	60,705	60,705
資本剰余金合計	575,261	575,261
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,513,708	2,758,897
利益剰余金合計	2,513,708	2,758,897
自己株式	—	△49,938
株主資本合計	3,623,525	3,818,776
純資産合計	3,623,525	3,818,776
負債純資産合計	10,479,995	11,215,079

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2018年8月1日 至 2019年1月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2019年8月1日 至 2020年1月31日）
売上高	4,753,655	5,713,255
売上原価		
商品期首たな卸高	47,511	44,598
当期商品仕入高	1,812,593	2,072,690
合計	1,860,104	2,117,289
他勘定振替高	19,999	21,952
商品期末たな卸高	47,831	53,591
商品売上原価	1,792,273	2,041,745
売上総利益	2,961,381	3,671,510
販売費及び一般管理費	2,800,180	3,178,232
営業利益	161,200	493,278
営業外収益		
受取利息	7	6
受取賃貸料	16,520	20,444
その他	6,587	2,995
営業外収益合計	23,115	23,446
営業外費用		
社債利息	7	—
支払利息	11,005	11,568
その他	327	1,190
営業外費用合計	11,341	12,759
経常利益	172,975	503,965
特別損失		
固定資産除却損	678	4,844
特別損失合計	678	4,844
税引前四半期純利益	172,296	499,121
法人税、住民税及び事業税	80,073	212,148
法人税等調整額	△14,303	△26,727
法人税等合計	65,770	185,420
四半期純利益	106,525	313,701

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	172,296	499,121
減価償却費	297,076	364,529
のれん償却額	5,443	5,443
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,288	8,849
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△380
受取利息及び受取配当金	△7	△6
支払利息及び社債利息	11,013	11,568
固定資産除却損	678	4,844
売上債権の増減額(△は増加)	16,683	9,052
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,657	△12,874
仕入債務の増減額(△は減少)	△105,189	△81,182
未払消費税等の増減額(△は減少)	△68,979	144,336
その他	61,847	92,095
小計	398,807	1,045,398
利息及び配当金の受取額	7	6
利息の支払額	△11,203	△11,322
法人税等の支払額	△150,773	△83,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	236,838	950,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,265	△40,269
定期預金の払戻による収入	40,264	40,267
有形固定資産の取得による支出	△1,032,788	△444,187
無形固定資産の取得による支出	△9,766	△2,272
差入保証金の回収による収入	1,080	3,469
差入保証金の差入による支出	△16,754	△14,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,058,231	△457,557
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△250,000	—
長期借入れによる収入	1,650,000	764,000
長期借入金の返済による支出	△489,000	△634,596
社債の償還による支出	△2,500	—
自己株式の取得による支出	—	△49,938
配当金の支払額	△68,201	△68,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	840,298	11,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,905	504,483
現金及び現金同等物の期首残高	949,324	756,340
現金及び現金同等物の四半期末残高	968,229	1,260,824

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、ウェディング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。